

## 高齢者の交通事故対策について

## 1 高齢者の交通事故防止に向けた取組み

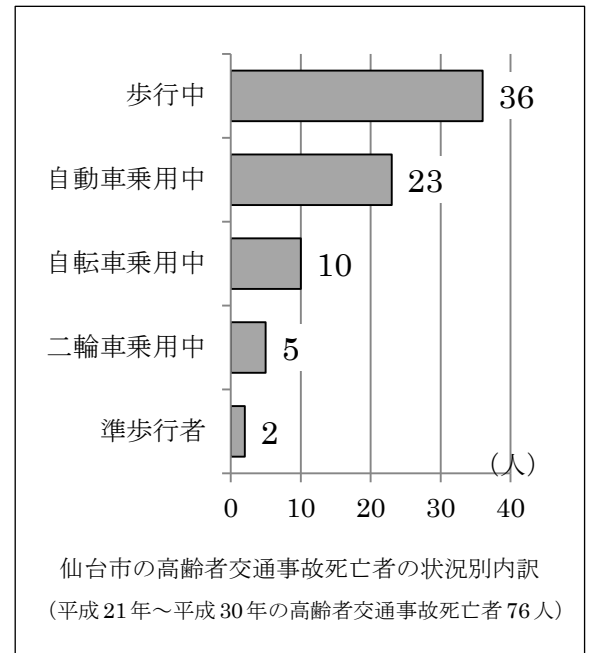
本市における平成 21 年から平成 30 年までの交通事故による高齢者の死者数は 76 人であった。

最も多い発生状況は歩行中の 36 人で、このうち横断歩道以外を横断中の交通事故による死者数は 22 人であった。これは、高齢者の交通事故による全死者数の約 3 割を占めている。

また、平成 31 年 2 月 14 日付で警察庁が発表した「平成 30 年における交通事故の特徴について」によると、歩行中死者の 7 割が 65 歳以上の高齢者で、そのうちの約 58% に法令違反があった。

これらのことから、高齢者の交通事故防止に向けては、改めて信号遵守等の法令遵守を呼びかける指導や、高齢者の行動特性を踏まえた交通安全教育が有効であると考えられる。

また、高齢者の自動車乗用中の交通事故死者数は 23 人と、歩行中の死者数に次いで多くなっている。高齢者が安全に運転を続けられるよう、身体機能の変化が運転に及ぼす影響の安全教育や広報を実施していく他、セーフティサポートカーS等の普及啓発や、運転免許証自主返納制度の周知等を進めて行く必要がある。



## 2 本市の取組みについて

## (1) 高齢者対象の「仙台市交通安全教室」の開催

内容：本市より業務委託を受けた（公財）仙台ひと・まち交流財団が実施。指導員による講話や、DVD により、加齢による視力の低下や、反射速度の低下、運動能力の低下が及ぼす影響等について知ってもらい、交通事故防止の啓発を行うとともに交通ルール遵守の大切さを伝えている。

また、薄暮や夜間の時間帯の交通事故防止について、反射材などの有効性を説明し、反射材の配布を行っている。

平成 29 年度実績

開催回数：31 回

参加人数：1,054 人

平成 30 年度実績（1 月末現在）

開催回数：35 回

参加人数：1,187 人



## (2) シルバードライバー講習会

内容： 宮城県警察本部より講師をお招きしての交通安全講話、指導員が同乗してのコース内走行による運転診断、ドライブレコーダーで撮影された交通事故映像を用いて交通事故防止策を解説、視力測定等を行い、日ごろの運転の確認や加齢による運動能力等の低下を自覚する機会とする。

平成 30 年度実績

5月30日(水)

1回目 9時30分～11時30分

2回目 13時30分～15時30分

会場：奥羽自動車学校(泉区八乙女中央三丁目5-1)

参加人数：1回目 16名、2回目 19名



10月1日(月)

1回目 9時30分～11時30分

2回目 13時30分～15時30分

会場：宮城自動車学校(太白区東郡山1丁目10-1)

参加人数：1回目 16名、2回目 21名



### <参考資料>

仙台市運転免許保有者数と高齢者の運転免許保有者数

(年)	H25	H26	H27	H28	H29	H30
運転免許保有者(人)	680,238	686,819	690,854	694,518	698,078	702,199
高齢運転免許保有者(人)	97,420	105,860	112,417	117,822	122,965	127,600
高齢者が占める割合	14.3%	15.4%	16.3%	17.0%	17.6%	18.2%

仙台市の運転免許証自主返納者数推移(65歳以上)

(年)	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自主返納者(人) (65歳以上)	525	936	1,543	1,807	2,355	2,486